



滞納(未収金)

滞納額の総額は、約4億1,819万円

差し押さえも

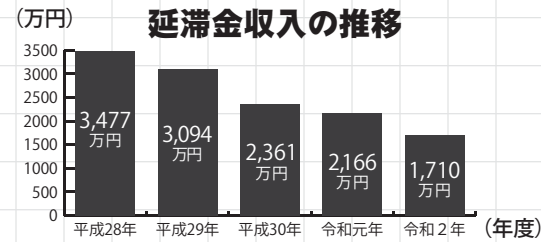
令和2年度末の滞納額は、前年度より約5,650万円減少しています。

市では預金など233件の差し押さえを行いました。また、高額滞納者などは南国・香南・香美租税債権管理機構に移管し、負担の公平性確保に向けた適正な執行に努めています。

滞納しないように納めましょう!



| 税種 | 金額 |
|------------|-----------|
| 市民税 | 3,348万円 |
| 固定資産税 | 4,497万円 |
| 軽自動車税 | 872万円 |
| 国民健康保険税 | 7,472万円 |
| 介護保険料 | 987万円 |
| 後期高齢者医療保険料 | 0万円 |
| 給食費 | 1,332万円 |
| 保育所保育料 | 1,172万円 |
| 幼稚園保育料 | 63万円 |
| 住宅使用料 | 4,146万円 |
| 住宅新築資金等貸付金 | 9,180万円 |
| 水道使用料 | 4,226万円 |
| 下水道使用料 | 588万円 |
| その他 | 3,936万円 |
| 合計額 | 4億1,819万円 |



※延滞金…市税(4税)・介護保険料・後期高齢者医療保険料の納期限が過ぎた場合にかかるペナルティ



特別会計 企業会計

市では、一般会計以外に特別会計が3会計、企業会計が3会計あります。

特別会計への一般会計からの繰入金は、前年度と比較して特別会計全体で4,964万円増加しました。

●特別会計…特定の収入でその支出が賄えるもの

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 繰入のうち一般会計からの繰入金 |
|---------------|------------|------------|-----------------|
| 国民健康保険特別会計 | 41億7,405万円 | 41億7,207万円 | 3億9,643万円 |
| 後期高齢者医療保険特別会計 | 5億3,765万円 | 5億2,915万円 | 1億4,384万円 |
| 介護保険特別会計 | 35億5,193万円 | 35億4,626万円 | 5億8,451万円 |

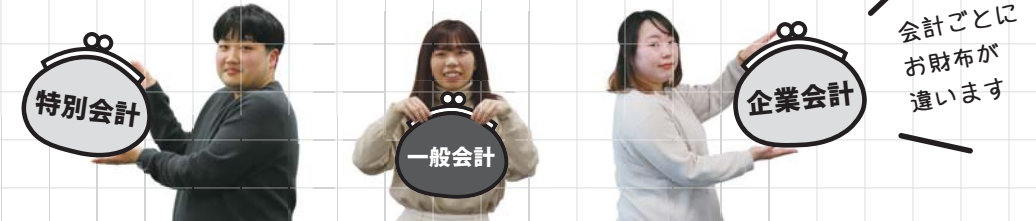
※一般会計から総額11億2,478万円が繰り入れられました

●企業会計…使用料などの収益があり、支出を収益で賄っているもの

| 会計名 | 収益的収入 | 収益的支出 | 資本的収入 | 資本的支出 | 資本的収支の不足額 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 水道事業会計 | 5億9,801万円 | 5億2,804万円 | 1億2,546万円 | 5億5,559万円 | 4億3,013万円 |
| 公共下水道事業会計 | 5億3,015万円 | 5億9,916万円 | 3億8,373万円 | 4億3,185万円 | 4,812万円 |
| 農業集落排水事業会計 | 2億3,991万円 | 2億7,581万円 | 2億4,151万円 | 2億4,957万円 | 806万円 |

※収益的収支…水道水を家庭へ届けるための費用に関する経費(水道料金・水質管理費など)

※資本的収支…水道施設の建設・改良などに関する経費



健全化判断比率 資金不足比率

早期健全化基準をすべて満たす

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、令和2年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率の内容について公表します。

これから、無駄なく健全に運用していきます



地方公共団体の財政の健全性に関する指標

| 健全化判断比率 | 香南市 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|---------------------------------------|-----------------|---------|--------|
| 実質赤字比率 一般会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率 | - | 13.19% | 20.00% |
| 連結実質赤字比率 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率 | - | 18.19% | 30.00% |
| 実質公債費比率 借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率 | 4.6% (▲0.7%) | 25.00% | 35.00% |
| 将来負担比率 市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率 | - | 350.0% | |

()は前年度比

地方公営企業の経営の健全性に関する指標

| 資金不足比率 | 香南市 | 経営健全化基準 | 財政再生基準 |
|--------------------------------------|-----|---------|--------|
| 資金不足比率 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率 | - | 20.00% | |

※「-」は赤字が生じていない(改善なし)ことを表示

※実質公債費比率が18%を超えると、借金借入に県知事の許可が必要になります
※実質公債費比率が25%を超えると、単独事業の借金借入が制限され、市独自の事業は、ほとんどできなくなります



借金返済(一般会計公債費)

令和2年度の借金返済額は、20億1,005万円
借金残高は、163億5,552万円

計画的に返済



借金の返済額は、20億1,005万円、前年度に比べ1億9,803万円減少しています。

令和2年度末の借金残高は、新たな借入れを縮小したことなどにより、前年度と比べると7,330万円の減少となっています。



基金積立(一般会計積立金)

令和2年度の基金積立額は、6億1,975万円
積立総額は、118億1,455万円

将来に備え貯金

基金積立額は、6億1,975万円、前年度に比べ5,056万円減少しています。

積立の内容は、前年度の純繰越金の2分の1以上を積み立てることと規定されている財政調整基金に8,132万円、ふるさと応援基金に4億7,578万円などとなっています。

令和2年度末の基金現在高は、前年度と比べると4億8,834万円の減少となっています。

